

No	施設名 診療科		対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				
89	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	食道閉鎖・気管食道瘻に対する全身麻酔の補助	男 0歳 0ヶ月 (2003/11/04生) W: 2.2kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.03mg/日 (3x) → 注射 注射
90	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	水頭症に対する全身麻酔の補助	女 0歳 0ヶ月 (2003/10/22生) W: 2.4kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.02mg/日 (3x) → 注射 注射
91	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	人工肛門脱出に対する全身麻酔の補助	女 0歳 1ヶ月 (2003/09/23生) W: 2.3kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.01mg/日 (2x) → 注射 注射
92	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	頭蓋骨早期癒合に対する全身麻酔の補助	女 0歳 1ヶ月 (2003/10/22生) W: 2.7kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.04mg/日 (3x) → 注射 注射
93	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	総胆管嚢腫に対する全身麻酔の補助	男 0歳 2ヶ月 (2003/09/09生) W: 5.7kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.03mg/日 (2x) → 注射 注射
94	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	唇裂に対する全身麻酔の補助	男 0歳 2ヶ月 (2003/08/13生) W: 5.9kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
95	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	唇裂に対する全身麻酔の補助	女 0歳 2ヶ月 (2003/08/05生) W: 4.7kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
96	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	VSD PHI 右心室憩室切除に対する全身麻酔の補助	男 0歳 4ヶ月 (2003/07/10生) W: 4.5kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.36mg/日 (3x) → 注射 注射
97	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	VSD PHIに対する全身麻酔の補助	男 0歳 4ヶ月 (2003/06/18生) W: 5.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.33mg/日 (2x) → 注射 注射
98	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	CoA complex に対する全身麻酔の補助	男 0歳 4ヶ月 (2003/11/12生) W: 6.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.50mg/日 (2x) → 注射 注射
99	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	VSD PHI ARSCA に対する全身麻酔の補助	男 0歳 5ヶ月 (2003/05/30生) W: 4.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.30mg/日 (2x) → 注射 注射

No	施設名 診療科		対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景	
	用法・用量/ 総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
100	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	TGA PS small VSD p/o tIBT に対する全身麻酔	男	0歳 6ヶ月 (2003/04/07生) W: 7.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.87mg/日 (2x) 注射 注射	
101	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	神経芽腫に対する全身麻酔の補助	女	0歳 7ヶ月 (2003/03/15生) W: 8.7kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.05mg/日 (2x) 注射 注射	
102	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	腸重積に対する全身麻酔の補助	男	0歳 9ヶ月 (2003/02/25生) W: 10.5kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.02mg/日 (1x) 注射 注射	
103	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	慢性肺疾患に対する全身麻酔の補助	男	0歳 9ヶ月 (2003/01/25生) W: 2.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.01mg/日 (1x) 注射 注射	
104	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男	0歳 10ヶ月 (2002/12/29生) - W: 11.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時に全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて術中に0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.02mg/日 (3x) 注射 注射	
105	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	VSD に対する全身麻酔の補助	男	0歳 11ヶ月 (2002/12/04生) W: 6.8kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.10mg/日 (4x) 注射 注射	
106	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	気管狭窄 PAsilingに対する全身麻酔の補助	男	1歳 1ヶ月 (2002/10/22生) W: 7.7kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.60mg/日 (1x) 注射 注射	
107	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	多発指に対する全身麻酔の補助	男	1歳 1ヶ月 (2002/10/06生) W: 8.2kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.01mg/日 (1x) 注射 注射	
108	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	血管腫に対する全身麻酔の補助	男	1歳 3ヶ月 (2002/08/03生) W: 11.1kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.03mg/日 (3x) 注射 注射	
109	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	VSD に対する全身麻酔の補助	男	1歳 3ヶ月 (2002/08/30生) W: 7.4kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.51mg/日 (4x) 注射 注射	
110	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	熱傷、火傷に対する全身麻酔の補助	男	1歳 5ヶ月 (2002/06/16生) W: 10.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時に全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて術中に0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.02mg/日 (2x) 注射 注射	

No	薬名 診療科		対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景	
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
111	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	仙尾部皮膚洞術後創癒不全に対する全身麻酔の補助	男 1歳 5ヶ月 (2002/06/17生)	W: 10.3kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間)	0.02mg/日 (1x) → 注射 注射
112	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	熱傷に対する全身麻酔	男 1歳 5ヶ月 (2002/06/16生)	W: 10.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間)	0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
113	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	脊髄脂肪腫に対する全身麻酔の補助	女 1歳 5ヶ月 (2002/06/24生)	W: 10.5kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間)	0.03mg/日 (2x) → 注射 注射
114	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	熱傷、火傷に対する全身麻酔の補助	男 1歳 10ヶ月 (2002/01/16生)	W: 11.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時に全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて術中に0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/02 ~ 2003/11/02 (1日間)	0.02mg/日 (2x) → 注射 注射
115	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	反復性膝蓋骨脱臼に対する全身麻酔の補助	女 2歳 4ヶ月 (2001/07/23生)	W: 12.8kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間)	0.02mg/日 (2x) → 注射 注射
116	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 2歳 4ヶ月 (2001/07/13生)	W: 16.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時に全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて術中に0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間)	0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
117	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	先天性母眼 耳介変形に対する全身麻酔の補助	男 2歳 6ヶ月 (2001/05/11生)	W: 12.2kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時に全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて術中に0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間)	0.02mg/日 (2x) → 注射 注射
118	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	TOF r1/s s/p bil mlSTに対する全身麻酔の補助	男 2歳 7ヶ月 (2001/04/07生)	W: 13.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間)	0.60mg/日 (1x) → 注射 注射
119	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	尿道下裂術後二分陰囊に対する全身麻酔の補助	男 3歳 1ヶ月 (2000/10/19生)	W: 11.9kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間)	0.03mg/日 (2x) → 注射 注射
120	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	熱傷・火傷に対する全身麻酔の補助	女 3歳 2ヶ月 (2000/09/02生)	W: 12.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間)	0.03mg/日 (2x) → 注射 注射
121	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	熱傷に対する全身麻酔の補助	女 3歳 2ヶ月 (2000/09/02生)	W: 12.3kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間)	(2x) → 注射 注射

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
122	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	先天性母斑に対する全身麻酔の補助	男 3歳 2ヶ月 (2000/09/01生) W: 16.0kg 入院・投与終了
					2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.03mg/日 (2x) -- 注射 注射
123	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	内反症に対する全身麻酔の補助	男 3歳 4ヶ月 (2000/07/31生) W: 14.0kg 入院・投与終了
					2003/11/14 ~ 2003/11/14 (1日間) 0.02mg/日 (3x) -- 注射 注射
124	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	眼瞼下垂に対する全身麻酔の補助	男 3歳 4ヶ月 (2000/07/07生) W: 10.2kg 入院・投与終了
					2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.01mg/日 (1x) -- 注射 注射
125	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	合指趾症に対する全身麻酔の補助	女 3歳 8ヶ月 (2000/03/08生) W: 13.0kg 入院・投与終了
					2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.01mg/日 (2x) -- 注射 注射
126	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	甲状腺嚢腫に対する全身麻酔の補助	女 3歳 8ヶ月 (2000/03/03生) W: 17.0kg 入院・投与終了
					2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) (2x) -- 注射 注射
127	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	白内障に対する全身麻酔の補助	男 4歳 6ヶ月 (1999/05/05生) W: 17.4kg 入院・投与終了
					2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.03mg/日 (4x) -- 注射 注射
128	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	内反症に対する全身麻酔の補助	男 4歳 8ヶ月 (1999/03/22生) W: 15.0kg 入院・投与終了
					2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.01mg/日 (1x) -- 注射 注射
129	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	胃食道逆流に対する全身麻酔	女 4歳 10ヶ月 (1999/01/24生) W: 22.0kg 入院・投与終了
					2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.10mg/日 (2x) -- 注射 注射
130	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	内反症に対する全身麻酔の補助	男 5歳 0ヶ月 (1998/11/18生) W: 16.0kg 入院・投与終了
					2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.01mg/日 (1x) -- 注射 注射
131	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	虹彩脱臼に対する全身麻酔	男 5歳 6ヶ月 (1998/05/11生) W: 16.0kg 入院・投与終了
					2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.02mg/日 (1x) -- 注射 注射
132	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	内反症停留率丸に対する全身麻酔の補助	男 5歳 9ヶ月 (1998/02/14生) W: 18.0kg 入院・投与終了
					2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.01mg/日 (1x) -- 注射 注射

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性				投与量・剤型・投与経路
	用法・用量/総合コメント				
133	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	胃食道逆流に対する全身麻酔の補助	男 5歳 10ヶ月 (1998/01/12生) W: 8.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.02mg/日 (1x) → 注射 注射
134	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 6歳 1ヶ月 (1997/10/16生) W: 20.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
135	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	大腿骨頭捻り症	男 6歳 4ヶ月 (1997/07/08生) W: 25.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.04mg/日 (2x) → 注射 注射
136	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔	女 6歳 5ヶ月 (1997/06/01生) W: 25.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.02mg/日 (2x) → 注射 注射
137	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	下斜筋過動に対する全身麻酔の補助	男 6歳 6ヶ月 (1997/05/20生) W: 21.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.02mg/日 (4x) → 注射 注射
138	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 6歳 9ヶ月 (1997/02/27生) W: 29.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.02mg/日 (2x) → 注射 注射
139	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	麻酔薬に対する全身麻酔の補助	女 7歳 0ヶ月 (1996/11/13生) W: 23.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分別静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.23mg/日 (1x) → 注射 注射
140	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	内反症に対する全身麻酔の補助	女 7歳 4ヶ月 (1996/07/05生) W: 23.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/14 ~ 2003/11/14 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
141	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 7歳 11ヶ月 (1995/12/28生) W: 28.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.02mg/日 (4x) → 注射 注射
142	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 8歳 0ヶ月 (1995/11/13生) W: 18.2kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.03mg/日 (3x) → 注射 注射
143	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	眼瞼下垂に対する全身麻酔の補助	男 8歳 0ヶ月 (1995/11/13生) W: 18.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.01mg/日 (3x) → 注射 注射

No	施設名 診療科		対象疾患	適応外使用の疾病名	患者背景	
	用法・用量/総合コメント				投与量・剤型	投与経路
144	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 8歳 2ヶ月 (1995/09/01生)	W: 23.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間)	0.02mg/日 (1x) -- 注射 注射
145	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	VSD に対する全身麻酔の補助	女 9歳 6ヶ月 (1994/05/19生)	W: 37.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間)	0.60mg/日 (8x) -- 注射 注射
146	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	神経因性膀胱に対する全身麻酔の補助	女 10歳 5ヶ月 (1993/06/12生)	W: 30.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 持続投与。手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間)	0.30mg/日 -- 注射 注射
147	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 11歳 7ヶ月 (1992/04/27生)	W: 37.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間)	0.02mg/日 (2x) -- 注射 注射
148	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	congenital AS s/p AVPIに対する全身麻酔の補助	男 11歳 10ヶ月 (1992/01/15生)	W: 37.4kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用。主たる目的は手術のための『麻酔』である。必要に応じて、0.0005?0.02mg/kg/hr程度の範囲になるように持続静注もしくは分割静注している。手術時間に応じて、一日投与量(その日の麻酔時間中の投与量)は0.001?0.2mg/kg程度となる。 総合:				2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間)	2.20mg/日 (3x) -- 注射 注射
149	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	女 12歳 1ヶ月 (1989/10/14生)	W: 45.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間)	0.03mg/日 (1x) -- 注射 注射
150	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	漏斗胸に対する全身麻酔の補助	女 12歳 11ヶ月 (1990/12/20生)	W: 27.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 持続投与。手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間)	0.10mg/日 (1x) -- 注射 注射
151	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 14歳 0ヶ月 (1989/11/01生)	W: 45.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間)	0.02mg/日 (1x) -- 注射 注射
152	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	脳性麻痺・胃食道逆流・嚔嚥に対する全身麻酔の補助	女 15歳 0ヶ月 (2003/11/13生)	W: 20.2kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間)	0.04mg/日 (4x) -- 注射 注射
153	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔の補助	男 15歳 3ヶ月 (1988/08/22生)	W: 44.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間)	0.04mg/日 (1x) -- 注射 注射
154	公立こどもF	麻酔科	適応外使用	斜視に対する全身麻酔	男 15歳 4ヶ月 (1988/07/24生)	W: 58.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術時の全身麻酔の補助として使用したが、主たる目的は術中・術後の鎮痛である。必要に応じて、術中に、0.0005?0.01mg/kgの範囲で静注している。 総合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間)	0.03mg/日 (1x) -- 注射 注射

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路
155	公立こどもG	整形外科 (整形外科+麻酔)	適応外使用 二分存性 PCA	左腕作頭脱臼骨切り	男 10歳 2ヶ月 (1993/09/20生) H: 114.9cm W: 19.5kg 外来・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/07 (2日間) 0.16mg/日 (1x) → 注射
156	公立こどもH	整形外科	適応外使用 ドロペリドール併用なしの麻酔の補助	両側垂直距骨	男 0歳 3ヶ月 (2003/08/01生) H: 58.1cm W: 6.8kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.05mg/日 (2x) 0.02mg → 0.03mg 注射 注射
157	公立こどもH	心臓血管外科	適応外使用 ドロペリドール併用なしの手術時の麻酔補助	TGA(I), VSD, MAPCA, FO, PH	女 0歳 5ヶ月 (2003/06/08生) H: 60.0cm W: 6.0kg 入院・投与終了 2003/11/27 ~ 2003/11/27 (1日間) 0.30mg/日 (2x) 0.01mg → 0.06mg 注射 注射
158	公立こどもH	心臓血管外科	適応外使用 ドロペリドール併用なしの手術麻酔の補助	TAPVC (I a) PDA PFO, PH	女 1歳 0ヶ月 (2003/10/02生) H: 46.5cm W: 2.5kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/14 (2日間) 0.10mg/日 (9x) 0.01mg → 0.02mg 注射 注射
159	公立こどもH	心臓血管外科	適応外使用	PAIVS, PFO	女 3歳 11ヶ月 (2000/01/07生) H: 91.7cm W: 12.6kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.38mg/日 (4x) 0.01mg → 0.10mg 注射 注射
160	公立こどもH	整形外科	適応外使用 ドロペリドール併用なしの手術時麻酔の補助	左大腿骨骨幹部骨折	女 4歳 1ヶ月 (1999/10/19生) H: 87.3cm W: 13.1kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.05mg/日 (2x) → 注射 注射
161	公立こどもH	外科 (泌尿器科)	適応外使用 ドロペリドール併用なしによる手術麻酔の補助	鎖肛術後痙攣	女 6歳 5ヶ月 (1997/06/19生) H: 109.7cm W: 17.6kg 入院・投与終了 2003/11/19 ~ 2003/11/19 (1日間) 0.23mg/日 (9x) 0.01mg → 0.05mg 注射 注射
162	公立こどもH	歯科 (口腔外科)	適応外使用 ドロペリドール併用なしによる手術時の麻酔補助	両側性口唇口舌裂	男 9歳 8ヶ月 (1994/04/01生) H: 133.4cm W: 28.8kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.08mg/日 (3x) 0.02mg → 0.03mg 注射 注射
163	公立こどもH	外科	適応外使用 硬膜外投与	漏斗胸	女 10歳 4ヶ月 (1993/07/10生) H: 145.7cm W: 31.4kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/26 (2日間) 0.20mg/日 (2x) 0.10mg → 0.20mg 注射 注射, その他 (硬膜外投与)
164	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 吸入麻酔薬の補助として静脈投与	動脈管開存依存症	女 0歳 0ヶ月 (2003/11/05生) H: 52.2cm W: 3.2kg 入院・投与終了 2003/11/23 ~ 2003/11/23 (1日間) 0.03mg/日 (1x) → 注射 注射
165	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	フォロー四徴症	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/10生) H: 54.2cm W: 4.4kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.07mg/日 (1x) → 注射 注射

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路
166	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	両大欠陥右室起始症 Block-Taussingゼント	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/11生) H: 51.0cm W: 3.6kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.08mg/日 (1x) - 注射
167	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心房中隔欠損症 心室中隔欠損症	女 0歳 3ヶ月 (2003/08/07生) H: 61.0cm W: 5.7kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.14mg/日 (1x) - 注射
168	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損症	女 0歳 3ヶ月 (2003/08/08生) H: 58.4cm W: 5.2kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.15mg/日 (1x) - 注射
169	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損症	女 0歳 4ヶ月 (2003/07/27生) H: 59.6cm W: 5.0kg 入院・投与終了 2003/11/14 ~ 2003/11/14 (1日間) 0.06mg/日 (1x) - 注射
170	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 開心術の麻酔の主剤として投与	心室中隔欠損症に対する根治術 小児開心術の麻酔では20?100 μ g/kgのフェンタニール投与は標準的な麻酔法である。	男 0歳 5ヶ月 (2003/06/04生) H: 64.5cm W: 7.1kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.20mg/日 - 注射
	用法: 28 μ g/kg (約30 μ g/kg)を開心術の麻酔で主剤として投与した。-				
総合: フェンタニールを使用した全身麻酔は小児に対しても成人と同様に安全かつ有効な方法であると考えられる。					
171	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	完全型心内臓欠損症	男 0歳 5ヶ月 (2003/06/20生) H: 62.4cm W: 5.1kg 入院・投与終了 2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.13mg/日 (1x) - 注射
172	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損	男 0歳 6ヶ月 (2003/05/13生) H: 70.0cm W: 8.1kg 入院・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.20mg/日 (1x) - 注射
173	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 全身麻酔の補助および術後鎮痛のため持続静注	左腎臓結石	女 1歳 3ヶ月 (2002/08/27生) H: 72.0cm W: 8.3kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.20mg/日 - 注射
用法: 術中13時?17時まで、20、10、15、10、5 μ g/1mlなくなるまで持続静注					
総合: 術後のペインコントロールとして有効					
174	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損、ラステリー	女 1歳 4ヶ月 (2002/07/06生) H: 76.1cm W: 9.2kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.25mg/日 (1x) - 注射
175	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心房中隔欠損症	女 1歳 8ヶ月 (2002/03/07生) H: 76.6cm W: 8.6kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.23mg/日 (1x) -
176	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 全身麻酔の補助および術後鎮痛のために、硬膜外腔に局所麻酔薬と混合して注入	両側膀胱尿管逆流	男 1歳 9ヶ月 (2002/02/14生) H: 76.7cm W: 8.1kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.10mg/日 - 注射 その他(持続硬膜外注入)
用法: 0.2%7+フェンタニール1 μ g/mlとし、1.6ml/hrで持続注入					
総合: 術中のペインコントロールはきわめて良好で他の鎮痛薬を必要としなかった。					

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実例名	患者背景
安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
177	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 硬膜外麻酔(局麻薬の補助)	先天性水腎尿管症	男 2歳 4ヶ月 (2001/07/28生) H: 87.5cm W: 11.9kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.05mg/日 (1x) → 注射 その他(持続硬膜外注入)
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 0.2%アヘイン50ml+フェンタニール1mlを2.3ml/hrで注入 総合:				
178	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	完全大血管転移症 両方向性グレン	男 2歳 5ヶ月 (2001/06/09生) H: 84.8cm W: 10.1kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.22mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 22 µg/kg 総合:				
179	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	眼瞼下垂	男 2歳 5ヶ月 (2001/06/16生) H: 88.9cm W: 13.2kg 入院・ 2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間) 0.05mg/日 → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 術後、鎮痛目的で、吸入全身麻酔と併用 総合:				
180	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 吸入麻酔の補助として、間欠投与(静注)	二分脊椎 先天性股関節脱臼	男 2歳 7ヶ月 (2001/04/20生) H: 83.5cm W: 9.6kg 入院・投与終了 2003/11/27 ~ 2003/11/27 (1日間) 0.10mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総合:				
181	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	膀胱尿管逆流症	男 3歳 0ヶ月 (2000/11/23生) H: 90.0cm W: 14.0kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/19 (2日間) 0.10mg/日 → 注射 その他(持続硬膜外注入)
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 0.2%アヘイン+フェンタニール2ml, 2.8ml/hr 約36hr 総合:				
182	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	両側肺動脈形成 グレン術	男 3歳 0ヶ月 (2000/11/23生) H: 92.7cm W: 11.0kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.25mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 22.7 µg/kg 総合:				
183	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損	女 3歳 2ヶ月 (2000/09/01生) H: 94.3cm W: 13.0kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 6.00mg/日 → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 23 µg/kg 総合:				
184	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心房中隔欠損症	男 3歳 6ヶ月 (2000/05/12生) H: 77.2cm W: 12.5kg 入院・投与終了 2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.30mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 24 µg/kg 総合:				
185	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	眼瞼下垂 霰粒腫	男 3歳 7ヶ月 (2000/04/01生) H: 90.2cm W: 10.5kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.05mg/日 → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 術後比痛目的で吸入全身麻酔に併用 総合:				
186	公立こどもI	麻酔科	適応外使用 開胸術の麻酔の主剤として投与	フロー-四徴症に対する根治手術(開心術)	女 3歳 9ヶ月 (2000/02/22生) H: 86.0cm W: 10.1kg 入院・投与終了 2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.30mg/日 → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: フェンタニール30 µg/kgを用いた開心術における全身麻酔の主剤として投与 総合: 開心術の麻酔に30?100 µg/kgのフェンタニールを投与する方法は、標準的な投与方法の一つである。尚、一般的にドロペリドールをフェンタニールと併用して投与することは極めて稀である。				
187	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	両側膀胱尿管逆流症	男 3歳 11ヶ月 (1999/12/24生) H: 98.0cm W: 15.1kg 入院・投与終了 2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.10mg/日 → 注射 その他(硬膜外注入(持続))
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 0.2%アヘイン(フェンタニール1 µg/ml)→3ml/hrで注入開始、終了まで 総合:				

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
					投与量・剤型・投与経路
188	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心房中隔欠損症、部分肺静脈還流異常	男 4歳 0ヶ月 (1999/11/04生) H: 98.7cm W: 15.5kg 入院・投与終了 2003/11/28 ~ 2003/11/28 (1日間) 0.40mg/日 注射
189	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	右大腿骨頸部偽関節 術後硬膜外鎮痛に局麻剤のみでは不十分な場合、フェンタニールを混注している。局麻薬中毒の危険性を回避できる。	女 4歳 8ヶ月 (1999/03/29生) H: 98.2cm W: 13.2kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.10mg/日 注射 その他(硬膜外注入(持続))
190	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	大動脈弁狭窄に対する大動脈弁形成術 小児開心術の麻酔では、20?100 µg/kgのフェンタニール投与は標準的な麻酔法である	男 7歳 9ヶ月 (1996/02/22生) H: 118.7cm W: 26.2kg 入院・投与終了 2003/11/28 ~ 2003/11/28 (1日間) 0.70mg/日 注射
191	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	アルトログリボース 0.2%アヘイン100mL+フェンタニール100 µgでは、消化器症状が強い(嘔気、嘔吐)	男 8歳 7ヶ月 (1995/04/12生) H: 120.0cm W: 22.9kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.10mg/日 注射 その他(硬膜外注入(持続))
192	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	大動脈弁狭窄 大量フェンタニール使用による全身麻酔、吸入麻酔薬を補助として使用	男 13歳 2ヶ月 (1990/09/18生) H: 175.3cm W: 51.8kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 1.40mg/日 注射
193	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	腓骨列欠損に対する左大腿骨延長術 術後硬膜外鎮痛目的で硬膜外腔に持続投与した。	男 22歳 2ヶ月 (1981/09/07生) H: 152.0cm W: 48.0kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.10mg/日 注射 その他(持続硬膜外注入)
194	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	総肺静脈還流異常手術時の鎮痛 心臓手術のような大手術において、麻酔による鎮痛は強力であり有用と考える。 術後数日間の呼吸管理を行う場合は、呼吸抑制に関してはあまり考慮せずにより、むしろ、鎮痛を十分にはかることが早期回復の助けになると思われる。新生児であっても非常に有用である。	男 0歳 0ヶ月 (2003/11/11生) H: 56.8cm W: 2.7kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.05mg/日(5x) 注射
195	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	TGA(大血管転位症)手術時の鎮痛 術中i.v.による使用。他の薬剤での代用は不可能ではないが難しい。	女 0歳 0ヶ月 (2003/11/05生) H: 50.5cm W: 3.1kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.05mg/日(7x) 0.01mg → 0.01mg 注射
196	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	食道閉鎖手術時の鎮痛 侵襲の大きい手術で、十分な鎮痛をはかるためには、麻酔は特に有用と思われる。作用発現の早さを考えるとフェンタニールは使用しやすい。 術後呼吸管理をする場合は、呼吸抑制について考慮する必要性はうすする。	男 0歳 0ヶ月 (2003/11/23生) H: 48.5cm W: 2.4kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.03mg/日(5x) 注射
197	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損手術時の麻酔時の鎮痛 麻酔時の鎮痛(ドロペリドール併用なし) 予定人工呼吸(手術後)	女 0歳 2ヶ月 (2003/08/24生) H: 53.0cm W: 3.4kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 注射
198	公立こどもI	麻酔科	適応外使用	大血管転位症(TGA)手術時の麻酔時の鎮痛 心臓手術のような大手術において麻酔はかなり有用である。作用時間や効果を考えるとフェンタニールが最も使用しやすいと思われる。	男 0歳 3ヶ月 (2003/07/15生) H: 62.7cm W: 6.0kg 入院・投与終了 2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.10mg/日(10x) 注射

WEB調査 実績データ フェンタニール注

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				患者背景 投与量・剤型・投与経路
199	公立こども	麻酔科	適応外使用 麻酔時の鎮痛	PAPVR(部分的肺静脈還流異常)、PS(肺動脈弁狭窄)手術後の根治	男 4歳 2ヶ月 (1999/09/18生) H: 97.8cm W: 16.1kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) → 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 呼吸抑制なし 用法: 静注、1回投与量20μg/回×3回、10μg/回×4回、計100μg/約5hr、デブリアンと併用				
200	公立こども	麻酔科	適応外使用 麻酔時の鎮痛	腎移植の麻酔時の鎮痛	男 4歳 4ヶ月 (1999/07/21生) H: 90.4cm W: 11.7kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 0.06mg/日(1x) → 注射 その他(硬膜外)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 0.21μg/kg/hr 硬膜外麻酔時は、この用量程度のフェンタニールが極めて有効				
201	公立こども	麻酔科	適応外使用 麻酔時の鎮痛	心室中隔欠損手術時の麻酔時の鎮痛	女 4歳 5ヶ月 (1998/06/11生) H: 114.4cm W: 20.4kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) → 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 呼吸抑制なし 用法: 静注、1回20μg/回×5回、計100μg/約4hr、セボフレン・重酸化窒素・デブリアン・ドルミカムと併用				
202	公立こども	麻酔科	適応外使用 麻酔時の鎮痛→硬膜外へ局麻剤と併用→手術後の鎮痛→硬膜外へ局麻剤とドロペリドール(嘔吐、鎮静的に少量投与)と併用	水腎症腎摘出術における麻酔時と術後の鎮痛	男 4歳 8ヶ月 (1999/03/09生) H: 103.8cm W: 16.6kg 入院・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/07 (2日間) → 注射 その他(硬膜外へ単回・持続注入)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 単回投与25μg×2回さらに持続注入240μg/日→セボフレンと併用				
203	公立こども	麻酔科	適応外使用	膀胱尿管逆流症手術時の硬膜外麻酔	男 6歳 2ヶ月 (1997/09/07生) H: 121.0cm W: 20.0kg 入院・投与終了 2003/11/19 ~ 2003/11/21 (3日間) 0.12mg/日(1x) → 注射 その他(硬膜外)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 持続投与 11/19、12:45?11/21、16:00 5μg/hrで投与 →Total 0.2mg(4ml)投与→				
204	公立こども	麻酔科	適応外使用 開心術において、術中の鎮痛薬は有用である。モルネに比べフェンタニールの方が作用時間が短い。呼吸抑制などの副作用が後にでにくいと思われる。	心室中隔欠損手術時の麻酔時の鎮痛	女 6歳 3ヶ月 (1997/07/27生) H: 114.5cm W: 16.9kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.20mg/日(8x) → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 静注、0.025mg×8、術後早期抜管ができ、かつ鎮痛をはかるためには→10μg/kg程度使用するのが適切と思われる。併用薬:鎮痛薬(ドルミカム)や重酸化窒素、揮発性吸入麻酔薬				
205	公立こども	麻酔科	適応外使用	胚細胞腫瘍摘除術時に硬膜外へ局麻剤と併用	女 6歳 5ヶ月 (1997/05/28生) H: 105.2cm W: 13.2kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/27 (3日間) → 注射 その他(硬膜外)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 0.1mgを0.2%アヘインとMixしてTotal 50CCとして1ml/hrで持続投与→0.15μg/kg/hrで50hr→				
206	公立こども	麻酔科	適応外使用 硬膜外麻酔における局所麻酔薬の効果の増強	虫垂炎手術時	男 7歳 1ヶ月 (1996/09/30生) H: 124.5cm W: 21.6kg 入院・投与終了 2003/11/20 ~ 2003/11/21 (2日間) → 注射 その他(硬膜外)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 持続で総量0.1mg(0.23μg/kg/hr)				
207	公立こども	麻酔科	適応外使用 呼吸抑制なし	投術性イレウス	男 7歳 3ヶ月 (1996/08/12生) H: 126.0cm W: 25.0kg 入院・投与終了 2003/11/15 ~ 2003/11/16 (2日間) → 注射 その他(硬膜外注入(単回・持続))
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 1回投与量50μg×1回、持続注157μg/日、セボフレン・局麻剤と併用				
208	公立こども	麻酔科	適応外使用	テンコフ挿入	男 10歳 10ヶ月 (1992/12/30生) H: 135.6cm W: 28.0kg 入院・投与終了 2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間) 0.25mg/日(1x) → 注射 その他(硬膜外)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 硬膜外麻酔時使用				
209	公立こども	麻酔科	適応外使用 麻酔時の鎮痛	胃穿孔手術時の麻酔時の鎮痛	男 16歳 1ヶ月 (1986/10/14生) H: 150.0cm W: 38.0kg 入院・投与終了 2003/11/24 ~ 2003/11/24 (1日間) 0.40mg/日(4x) → 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 1回0.1mg/日4回→全身状態が悪く、揮発性吸入麻酔薬を十分使うことができなかったため、鎮痛は本剤によるほかない。慎重に用いれば安全に使えるという印象である。				

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
安全性/有効性 用法・用量/適合コメント				投与量・剤型・投与経路	
210	公立こどもK	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損閉鎖術の全身麻酔	男 5歳 0ヶ月 (1998/11/18生) H: 112.6cm W: 19.7kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 麻酔導入に、2.5 μg/kgを静脈注射し、その後5 μg/kg、2.5 μg (2回)を追加投与した。→ 総 合: 全身麻酔の麻酔用鎮痛剤として使用した。ドロペリドールとの併用の必要は無く、むしろ、覚醒遅延を起こす可能性があり、フェンタニール単独で局麻酔とともに硬膜外に投与した方が良いと考える。→				注射 注射
211	公立こどもK	麻酔科	適応外使用	後腹膜神経芽腫術後イレウスにおける、全身麻酔薬として使用 ドロペリドールは覚醒遅延、難体外路症状を引き起こす可能性があるため使用していない。	男 5歳 4ヶ月 (1998/07/24生) H: 111.6cm W: 20.0kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術開始前に5 μg/kgを投与し、その後1 μg/kgづつ、2回追加投与を行った。→ 総 合: 麻酔用鎮痛剤として、小児の麻酔できわめて有効である。ドロペリドールは併用する必要はないと考える。むしろ併用しない方が、よく鎮痛された状態で良好の覚醒を得られる。				注射 注射
212	公立こどもK	麻酔科	適応外使用	心室中隔欠損閉鎖術における全身麻酔 全身麻酔における、麻酔用鎮痛剤として使用した。本患児ではドロペリドールによって、血圧低下や覚醒遅延の可能性があるので、使用しなかった。	女 6歳 0ヶ月 (1997/11/21生) H: 114.0cm W: 19.6kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術開始前に5 μg/kgを静注し、その後3 μg/kgを追加静注した。→ 総 合: 全身麻酔に置ける、麻酔用鎮痛剤として使用した。人工心肺中も全身麻酔を維持するために、きわめて有用である。ドロペリドールの併用は、覚醒遅延や、血圧低下を来す可能性があり、避ける必要がある。フェンタニールは循環系も安定し、覚醒が良好で悪酔いの鎮痛も良好				注射 注射
213	公立こどもK	麻酔科	適応外使用	短小腸症候群における中心静脈アクセス入れ替えのための全身麻酔 全身麻酔における麻酔用鎮痛剤として使用した。ドロペリドールの併用は覚醒遅延や難体外路症状を起こす可能性があるため行わない。	男 7歳 3ヶ月 (1996/09/12生) H: 118.0cm W: 20.2kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 手術開始前に5 μg/kgを静注し、その後1 μg/kgを追加投与した。→ 総 合: 全身麻酔における麻酔用鎮痛剤としてきわめて有用である。ドロペリドールとの併用の必要はない。むしろ、ドロペリドールは覚醒遅延をおこす可能性があり、使用しない方がよい。				注射 注射
214	公立こどもK	麻酔科	適応外使用	急性虫垂炎の腹腔鏡下虫垂切除術の全身麻酔 全身麻酔において、麻酔用鎮痛剤として使用した。ドロペリドールは覚醒遅延や難体外路症状を呈する可能性があるため使用しなかった。→	女 9歳 11ヶ月 (1993/12/15生) H: 139.4cm W: 32.0kg 外来・投与終了 2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 麻酔導入に1.6 μg/kgを静注し、術中に1.6 μg/kgを追加投与した。 総 合: 全身麻酔剤の鎮痛剤として、きわめて有効であった。ドロペリドールの併用は不要であり、さらに併用すると覚醒遅延の可能性があるので、使用しない方がよい。				注射 注射
215	公立こどもK	麻酔科	適応外使用	急性虫垂炎の硬膜外麻酔に使用 硬膜外に投与した。0.3%ロビカインに併用。ドロペリドールの併用は、覚醒遅延の可能性があるので行わなかった。→	男 13歳 8ヶ月 (1990/03/19生) H: 160.0cm W: 43.0kg 入院・投与終了 2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間)
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 2.3 μg/kgを0.3%ロビカイン8mlに併用して硬膜外に投与。→ 総 合: 硬膜外麻酔に、局所麻酔と併用して使用した。ドロペリドールを併用する必要はないと思う。				注射 注射
216	公立こどもL	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/15生) W: 2.5kg 入院・投与終了 2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.01mg/日 (1x)
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				注射 注射
217	公立こどもL	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助、術後の鎮痛	男 0歳 1ヶ月 (2003/09/24生) W: 4.5kg 入院・ 2003/11/05 ~ 2003/11/06 (2日間) 1.10mg/日 (8x) 0.68mg → 1.10mg
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				注射 注射
218	公立こどもL	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	女 0歳 1ヶ月 (2003/10/14生) W: 2.6kg 入院・投与終了 2003/11/04 ~ 2003/11/08 (4日間) 1.10mg/日 (1x) 0.01mg → 1.10mg
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				注射 注射
219	公立こどもL	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	男 0歳 7ヶ月 (2003/04/02生) W: 7.0kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.80mg/日 (1x)
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				注射 注射
220	公立こどもL	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	女 1歳 9ヶ月 (2002/02/17生) W: 8.1kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.03mg/日 (1x)
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				注射 注射

No	施設名 診療科		対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景	
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
221	公立こどもし	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	男 5歳 5ヶ月 (1998/05/24生) W: 21.6kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.40mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法:					
	総合:					
222	公立こどもし	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	男 6歳 3ヶ月 (1995/07/25生) W: 18.2kg 入院・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.70mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法:					
	総合:					
223	公立こどもし	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	男 12歳 8ヶ月 (1991/03/09生) W: 55.0kg 入院・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.40mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法:					
	総合:					
224	公立こどもし	麻酔科	適応外使用	全身麻酔の補助	女 13歳 7ヶ月 (1990/04/13生) W: 18.5kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.12mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法:					
	総合:					
225	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 0歳 1ヶ月 (2003/10/20生) H: 38.0cm W: 1.1kg 入院・投与終了 2003/11/27 ~ 2003/11/27 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬との併用による全身麻酔の維持					
	総合:					
226	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	検査時の全身麻酔の補助	男 0歳 2ヶ月 (2003/08/20生) H: 48.0cm W: 2.6kg 入院・投与終了 2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬の併用による全身麻酔維持					
	総合:					
227	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 0歳 4ヶ月 (2003/07/01生) H: 60.5cm W: 6.7kg 入院・投与終了 2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.03mg/日 (4x) 0.02mg → 0.03mg 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とミダゾラム併用による全身麻酔の導入→本剤と吸入麻酔薬併用による全身麻酔の維持					
	総合:					
228	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 0歳 5ヶ月 (2003/05/27生) H: 61.5cm W: 5.9kg 入院・投与終了 2003/11/19 ~ 2003/11/19 (1日間) 0.03mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬併用による全身麻酔維持					
	総合:					
229	公立こどもM (集中治療科)		適応外使用 鎮静薬として用いた	腹部腫瘍(ユーイング肉腫)	男 0歳 5ヶ月 (2003/05/20生) H: 56.0cm W: 8.0kg 入院・投与終了 2004/11/19 ~ 2004/12/06 (15日間) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 1?3mcg/kg/hr→					
	総合: フェンタニールを選択した理由は、人工呼吸中期間が長期に及び、塩酸モルヒネ、ミダゾラム、ケタミン、フェンタニールを交互に用いながら鎮静を図った。(単一製剤では効果が減弱し、薬物の蓄積の問題もあるため)フェンタニール使用中(人工呼吸離脱とともに終了)					
230	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 0歳 6ヶ月 (2003/04/26生) H: 63.0cm W: 5.8kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.03mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬の併用による全身麻酔維持					
	総合:					
231	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 0歳 8ヶ月 (2003/03/18生) H: 71.0cm W: 9.1kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.02mg/日 (1x) → 注射 注射	
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォール併用による全身麻酔の維持					
	総合:					

WEB調査 実績データ

フェンタニール注

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
232	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 0歳 9ヶ月 (2003/01/29生) H: 64.5cm W: 6.0kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.24mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤の単独で多量持続静注(0.04?0.1mg/kg)で全身麻酔維持(人工心肺手術) 総合:
233	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 0歳 9ヶ月 (2003/01/29生) H: 64.5cm W: 6.0kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.24mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤の単独で多量持続静注(0.04mg?0.1mg/kg)で全身麻酔維持(人工心肺手術) — 総合:
234	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 0歳 11ヶ月 (2002/12/07生) H: 76.4cm W: 10.4kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.40mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤を単独又は吸入麻酔薬と併用し(0.04mg?0.1mg/kg)を持続点滴し、人工心肺使用の全身麻酔維持として使用する 総合:
235	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 0歳 11ヶ月 (2003/01/01生) H: 72.2cm W: 9.0kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.02mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールの併用による全身麻酔の維持 総合:
236	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 1歳 0ヶ月 (2002/10/26生) H: 74.5cm W: 8.9kg 入院・投与終了 2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.02mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 総合:
237	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 1歳 0ヶ月 (2002/11/15生) H: 74.0cm W: 9.2kg 入院・投与終了 2003/11/27 ~ 2003/11/27 (1日間) 0.37mg/日 (2x) 0.03mg — 0.37mg 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とミダゾラム併用による全身麻酔導入一本剤の多量持続静注の単独又は吸入麻酔薬と併用による全身麻酔の維持 総合:
238	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	検査時の全身麻酔の補助	男 1歳 2ヶ月 (2002/09/12生) H: 71.0cm W: 8.2kg 入院・投与終了 2003/11/19 ~ 2003/11/19 (1日間) 0.02mg/日 (2x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とチオペンタールの併用により全身麻酔導入 総合:
239	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	検査時の全身麻酔の補助	男 1歳 3ヶ月 (2002/07/10生) H: 75.3cm W: 10.3kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.05mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とミダゾラムの併用(静脈注射)により麻酔導入 総合:
240	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 1歳 7ヶ月 (2002/04/09生) H: 86.0cm W: 11.5kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.02mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールの併用による全身麻酔の維持 総合:
241	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 1歳 9ヶ月 (2002/02/05生) H: 86.5cm W: 12.9kg 入院・投与終了 2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間) 0.03mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールとの併用による全身麻酔の維持 総合:
242	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 1歳 11ヶ月 (2001/12/12生) H: 81.0cm W: 9.4kg 入院・投与終了 2003/11/28 ~ 2003/11/28 (1日間) 0.36mg/日 (2x) 0.04mg — 0.36mg 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とチオペンタール併用による全身麻酔導入一本剤の単独多量持続投与(40?100µ/kg)による全身麻酔維持 — 総合:

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路
243	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 2歳 7ヶ月 (2001/03/27生) H: 93.7cm W: 14.4kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.07mg/日 (1x) → 注射
244	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 2歳 9ヶ月 (2001/04/18生) H: 83.8cm W: 10.1kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.40mg/日 (1x) → 注射
245	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	検査時の全身麻酔の補助	女 2歳 10ヶ月 (2000/12/29生) H: 75.0cm W: 7.1kg 入院・投与終了 2003/11/14 ~ 2003/11/14 (1日間) 0.04mg/日 (1x) → 注射
246	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 2歳 11ヶ月 (2000/12/18生) H: 98.0cm W: 12.8kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.03mg/日 (1x) → 注射
247	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 3歳 3ヶ月 (2000/07/30生) H: 89.0cm W: 11.4kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.05mg/日 (1x) → 注射
248	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 3歳 5ヶ月 (2000/06/09生) H: 94.8cm W: 15.0kg 入院・投与終了 2003/11/11 ~ 2003/11/11 (1日間) 0.08mg/日 (1x) → 注射
249	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 3歳 5ヶ月 (2000/05/03生) H: 97.0cm W: 14.0kg 入院・投与終了 2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.03mg/日 (1x) → 注射
250	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 3歳 11ヶ月 (1999/11/27生) H: 95.2cm W: 15.6kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.08mg/日 (1x) → 注射
251	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 3歳 11ヶ月 (1999/12/27生) H: 98.0cm W: 16.0kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.08mg/日 (1x) → 注射
252	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 4歳 2ヶ月 (1999/08/18生) H: 96.4cm W: 13.0kg 入院・投与終了 2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.04mg/日 (3x) 0.02mg → 0.05mg 注射
253	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 4歳 11ヶ月 (1998/12/01生) H: 104.6cm W: 16.0kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.05mg/日 (3x) 0.02mg → 0.05mg 注射

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路
254	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 5歳 1ヶ月 (1998/09/24生) H: 107.0cm W: 18.5kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.04mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールの併用による全身麻酔維持 総合:				
255	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助 吸入麻酔薬(セボフルラン、笑気)との併用による全身麻酔の維持	男 5歳 6ヶ月 (1998/05/02生) H: 107.1cm W: 17.6kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.09mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬との併用による全身麻酔の維持 総合:				
256	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 6歳 2ヶ月 (1997/09/06生) H: 114.2cm W: 19.0kg 入院・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.04mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールを併用し全身麻酔の維持で使用 総合:				
257	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 6歳 4ヶ月 (1997/06/27生) H: 118.8cm W: 19.9kg 入院・投与終了 2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.80mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤を単独で多量(0.04mg?0.1mg/kg)持続点滴し、人工心臓を使用する手術の全身麻酔維持に使用する。ー 総合:				
258	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 6歳 5ヶ月 (1997/06/06生) H: 99.4cm W: 14.8kg 入院・投与終了 2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間) 0.08mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬(GOS)の併用による全身麻酔維持 総合:				
259	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 7歳 4ヶ月 (1996/06/19生) H: 118.8cm W: 22.6kg 入院・投与終了 2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.05mg/日 1(2x 0.03mg → 0.05mg 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬の併用による全身麻酔の維持 総合:				
260	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 8歳 8ヶ月 (1995/02/26生) H: 122.5cm W: 22.3kg 入院・投与終了 2003/11/19 ~ 2003/11/19 (1日間) 0.05mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールの併用による全身麻酔維持 総合:				
261	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 9歳 1ヶ月 (1994/10/12生) H: 124.8cm W: 25.8kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.05mg/日 (2x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬の併用により全身麻酔の維持に使用→1回投与(2?5 µg) 総合:				
262	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の局所麻酔の補助	男 9歳 4ヶ月 (1994/07/02生) H: 136.0cm W: 34.6kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.07mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とブピバカイン併用による硬膜外局所麻酔 総合:				
263	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	検査時の全身麻酔の補助	男 9歳 6ヶ月 (1994/05/03生) H: 121.5cm W: 22.7kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.11mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とチアマミラルナトリウムの併用により全身麻酔の導入 総合:				
264	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 10歳 8ヶ月 (1993/03/12生) H: 134.8cm W: 27.6kg 入院・投与終了 2003/11/13 ~ 2003/11/13 (1日間) 0.05mg/日 (1x) ー 注射 注射
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とプロポフォールの併用による全身麻酔維持 総合:				

No	施設名 診療科		対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景	
	用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路	
265	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 11歳 3ヶ月 (1992/08/03生)	H: 150.3cm W: 38.8kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と静脈麻酔薬(チオペンタール)併用による全身麻酔の導入 総 合:				2003/11/28 ~ 2003/11/28 (1日間) 0.10mg/日(1x) → 注射 注射	
266	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 11歳 3ヶ月 (1992/07/30生)	H: 134.8cm W: 26.8kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤と吸入麻酔薬(セボフルラン、笑気)との併用による全身麻酔の維持 総 合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.05mg/日(1x) → 注射 注射	
267	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	女 16歳 1ヶ月 (1987/10/07生)	H: 158.0cm W: 56.7kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 吸入麻酔薬と併用し、全身麻酔の補助目的でフェンタニール(2.75 µg/kg)を1回投与→ 総 合:				2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.10mg/日(1x) → 注射 注射	
268	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の局所麻酔の補助	女 24歳 10ヶ月 (1979/01/05生)	H: 154.0cm W: 58.4kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 本剤とプロピバカイン併用による硬膜外局所麻酔 総 合:				2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.06mg/日(1x) → 注射 注射	
269	公立こどもM	麻酔科	適応外使用	手術時の全身麻酔の補助	男 45歳 6ヶ月 (1958/04/29生)	H: 169.0cm W: 71.5kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 本剤とチオペンタールの併用による全身麻酔導入 総 合:				2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.10mg/日(1x) → 注射 注射	
270	公立こどもN	麻酔科	適応外使用	左心低形成症候群 上記に対する手術の全身麻酔	男 0歳 0ヶ月 (2003/11/04生)	H: 47.0cm W: 3.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.05mg/日(6x) 0.01mg → 0.03mg 注射 注射	
271	公立こどもN	麻酔科	適応外使用	大動脈離断症Norwood術後 上記に対する手術の全身麻酔	男 0歳 0ヶ月 (2003/10/25生)	H: 49.3cm W: 3.0kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.01mg/日(2x) → 注射 注射	
272	公立こどもN	麻酔科	適応外使用	エプスタイン奇形 上記に対する手術の全身麻酔	男 0歳 0ヶ月 (2003/10/31生)	W: 1.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.07mg/日(7x) 0.01mg → 0.01mg 注射 注射	
273	公立こどもN	麻酔科	適応外使用	脳瘤 上記に対する手術の全身麻酔	女 0歳 0ヶ月 (2003/11/06生)	H: 45.0cm W: 2.6kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.00mg/日(2x) 0.00mg → 0.00mg 注射 注射	
274	公立こどもN	麻酔科	適応外使用	腸穿孔 上記に対する手術の全身麻酔	男 0歳 0ヶ月 (2003/10/31生)	H: 37.0cm W: 8kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				2003/11/03 ~ 2003/11/03 (1日間) 0.02mg/日(3x) → 注射 注射	
275	公立こどもN	麻酔科	適応外使用	先天性胆道拡張症 上記に対する手術の全身麻酔	女 0歳 0ヶ月 (2003/10/11生)	H: 49.3cm W: 3.1kg 入院・投与終了
	安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総 合:				2003/11/04 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.05mg/日(2x) 0.00mg → 0.01mg 注射 注射	

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
	安全性/有効性 用法・用量/総合コメント				投与量・剤型・投与経路
276	公立こどもN	麻酔科	適応外使用 上記に対する手術の全身麻酔	動脈管開存	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/02生) H: 30.2cm W: .6kg 入院・投与終了 2003/11/09 ~ 2003/11/09 (1日間) 0.01mg/日 (3x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総合:
277	公立こどもN	麻酔科	適応外使用 上記に対する手術の全身麻酔	KPシャント機能不全	男 0歳 6ヶ月 (2003/04/18生) H: 69.1cm W: 8.1kg 入院・投与終了 2003/11/03 ~ 2003/11/03 (1日間) 0.05mg/日 (2x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総合:
278	公立こどもN	麻酔科	適応外使用 上記に対する手術の全身麻酔	狭頸症	女 1歳 3ヶ月 (2002/07/25生) H: 78.4cm W: 9.2kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.10mg/日 (3x) 0.02mg → 0.05mg 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総合:
279	公立こどもN	麻酔科	適応外使用 上記に対する手術の全身麻酔	フロー四徴症	男 1歳 6ヶ月 (2002/04/06生) H: 83.5cm W: 11.0kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.23mg/日 (1x) 0.01mg → 0.05mg 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総合:
280	国立C	耳鼻科	ドロペリドール併用による手術、検査、処置時の全身麻酔の補助		女 3歳 9ヶ月 (2000/01/30生) H: 98.0cm W: 14.0kg 入院・投与終了 2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 0.05mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 不明または未判定 有効性: 有効 用法: 総合:
281	国立C	耳鼻科	ドロペリドール併用による手術、検査、処置時の全身麻酔の補助		男 5歳 2ヶ月 (1998/08/17生) H: 105.0cm W: 15.0kg 入院・投与終了 2003/11/05 ~ 2003/11/05 (1日間) 0.05mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 不明または未判定 有効性: 有効 用法: 総合:
282	国立C	外科	ドロペリドール併用による手術、検査、処置時の全身麻酔の補助		男 15歳 5ヶ月 (1988/05/27生) H: 165.0cm W: 53.0kg 入院・ 2003/11/12 ~ 2003/11/12 (1日間) 1.00mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 不明または未判定 有効性: 有効 用法: 総合:
283	国立D	(口腔外科)	ドロペリドール併用による手術、検査、処置時の全身麻酔の補助 ドロペリドールは併用していないという意味では適応外一適応外での実病名は「歯牙腫」		男 9歳 8ヶ月 (1994/03/16生) H: 140.6cm W: 29.3kg 入院・投与終了 2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間) 0.05mg/日 (1x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 有効 用法: 総合:
284	国立D	(小児外科)	適応外使用 安定した麻酔コントロールに極めて有効	左開胸腫瘍摘出時の全身麻酔導入後の麻酔効果維持	女 5歳 1ヶ月 (2001/09/26生) H: 80.0cm W: 9.6kg 入院・投与終了 2003/11/04 ~ 2003/11/04 (1日間) 0.03mg/日 (2x) — 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 吸入麻酔中に追加投与した 総合: 小児手術においては協力が得られない分、余計に十分な麻酔が必要となるが、フェンタニールの鎮痛効果により、他の薬剤を減量できる為、安全性は高まると考える
285	国立D	(小児外科)	適応外使用 安定した麻酔コントロールに極めて有効	開腹虫垂切除術時の全身麻酔導入後の麻酔効果維持	男 8歳 1ヶ月 (1995/10/06生) H: 137.0cm W: 44.5kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.20mg/日 (3x) 0.05mg → 0.10mg 注射 注射
					安全性: 特になし 有効性: 著効 用法: 麻酔導入時に使用することで他の麻酔剤投与量を減量できる 総合: 小児手術においては協力が得られない分余計に十分な麻酔が必要となるがフェンタニールの鎮痛効果により、他の薬剤を減量できるため、安全性は高まると考える
286	国立E	小児科	適応外使用 未熟児-VPシャント	手術の全身麻酔	女 0歳 4ヶ月 (2003/07/26生) H: 46.5cm W: 2.4kg 入院・投与終了 2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.01mg/日 (2x) 0.00mg → 0.01mg 注射 注射
					安全性: 不明または未判定 有効性: 著効 用法: 蒸留水で10倍希釈しtotal 1.5ml使用した 総合:

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
安全性/有効性				投与量・剤型・投与経路	
用法・用量/総合コメント					
287	国立F	麻酔科	ドロペリドール併用による手術、検査、処置時の全身麻酔の補助		男 7歳 0ヶ月 (1996/11/30生) H: 127.2cm W: 26.0kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.10mg/日 (1x) → 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
288	国立F	麻酔科	適応外使用 経肺動脈肺動脈弁切開	全麻	男 0歳 0ヶ月 (2003/10/29生) H: 44.0cm W: 2.5kg 入院・投与終了 2003/11/28 ~ 2003/11/28 (1日間) 0.50mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
289	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 0ヶ月 (2003/10/23生) H: 52.0cm W: 3.9kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.01mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
290	国立F	麻酔科	適応外使用 仙尾節奇形腫手術	全麻	女 0歳 0ヶ月 (2003/11/03生) H: 55.4cm W: 4.9kg 入院・投与終了 2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.20mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
291	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 1ヶ月 (2003/09/03生) H: 63.0cm W: 7.5kg 入院・投与終了 2003/11/14 ~ 2003/11/14 (1日間) 0.04mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
292	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 1ヶ月 (2003/09/17生) H: 62.6cm W: 4.7kg 入院・投与終了 2003/10/31 ~ 2003/10/31 (1日間) 0.05mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
293	国立F	麻酔科	適応外使用 排動脈絞扼術	全麻	女 0歳 1ヶ月 (2003/10/03生) H: 54.0cm W: 40112.0kg 入院・投与終了 2003/11/26 ~ 2003/11/26 (1日間) 0.10mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
294	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/29生) H: 44.0cm W: 2.5kg 入院・投与終了 2003/11/10 ~ 2003/11/10 (1日間) 0.08mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
295	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/06生) H: 61.4cm W: 6.6kg 入院・投与終了 2003/11/18 ~ 2003/11/18 (1日間) 0.02mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
296	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/14生) H: 50.0cm W: 3.8kg 入院・投与終了 2003/11/28 ~ 2003/11/28 (1日間) 0.02mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
297	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 1ヶ月 (2003/09/22生) H: 56.0cm W: 6.0kg 入院・投与終了 2003/11/21 ~ (1日間) 0.04mg/日 (1x) → 注射 注射
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				

No	施設名	診療科	対象疾患	適応外使用の実病名	患者背景
安全性/有効性					投与量・剤型・投与経路
用法・用量/総合コメント					
298	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 1ヶ月 (2003/10/23生) H: 99cm W: 9kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.02mg/日 (1x) ー 注射
299	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 2ヶ月 (2003/08/10生) H: 62.0cm W: 5.6kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.04mg/日 (1x) ー 注射
300	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 2ヶ月 (2003/09/04生) H: 55.0cm W: 4.4kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.10mg/日 (1x) ー 注射
301	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 3ヶ月 (2003/08/29生) H: 61.7cm W: 5.6kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/20 ~ 2003/11/20 (1日間) 0.01mg/日 (1x) ー 注射
302	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 3ヶ月 (2003/06/25生) H: 62.0cm W: 6.4kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.01mg/日 (1x) ー 注射
303	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 3ヶ月 (2003/07/05生) H: 63.8cm W: 8.1kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/21 ~ 2003/11/21 (1日間) 0.03mg/日 (1x) ー 注射
304	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 3ヶ月 (2003/08/08生) H: 60.0cm W: 6.1kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/06 ~ 2003/11/06 (1日間) 0.06mg/日 (1x) ー 注射
305	国立F	麻酔科	適応外使用 脊髄筋断離術	全麻	女 0歳 4ヶ月 (2003/06/29生) H: 63.1cm W: 7.2kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/19 ~ 2003/11/19 (1日間) 0.70mg/日 (1x) ー 注射
306	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	女 0歳 4ヶ月 (2003/06/09生) H: 62.4cm W: 5.5kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/17 ~ 2003/11/17 (1日間) 0.01mg/日 (1x) ー
307	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 4ヶ月 (2003/06/16生) H: 59.4cm W: 6.1kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/07 ~ 2003/11/07 (1日間) 0.01mg/日 (1x) ー 注射
308	国立F	麻酔科	適応外使用	全麻	男 0歳 4ヶ月 (2003/05/11生) H: 70.0cm W: 8.7kg 入院・投与終了
	安全性:				
	有効性:				
	用法:				
総合コメント:					2003/11/25 ~ 2003/11/25 (1日間) 0.03mg/日 (1x) ー 注射